

歌壇

寺尾 登志子 選

特選

白南風しろはえに波打つ蓮の葉の上を跳ねて行きたし蛙になって

小石川 中野 千鶴子

梅雨晴れの駅のカンナは赤色をこぼして吾のひとみ潤す

本駒込 岡本 千晶

また転ぶ両膝右手右目まで折れた心に包む満月

白山 長濱 晴子

入選

祭り終え社やしろの森は鎮まれり露店の支柱ポツンと残して

千駄木 上杉 紀世子

消しゴムを頭の中に持ちし友まだ早すぎる吾を消すのは

小石川 赤塚 美智子

亡き母の思いを辿る由もなし子が巣立つ今恋しきは母

白山 城戸 万倫子

真夏日に百歳老いの注意書き声高によみ今日の始まり

千駄木 石井 禮子

荷を運ぶ馬が通った菊坂の話もうましゑちごや店主

小石川 植田 恵子

初描きの油絵に短歌贈うたられき拙くも感動を共にす

千石 菊地 正矩

今日もよくめんどどうみたから缶チューで心の石を忘れる介護

音羽 黒坂 進

令和5年度 第2回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

マンションの建設不許可箱庭に

千石 菊地 正矩

大岡の裁きのように梅雨明けぬ

音羽 黒坂 進

存ながらへて蛇口につるす麦藁蛇むぎわらじや

本駒込 横塚 敏子

入選

吹口に頬膨らませ夏始む

本郷 町田 菊男

部屋中を夕焼けにして童唄

大塚 奥山 興悦

木洩れ日に一息揺れて揚羽蝶

小石川 福富 貞子

いつせいに鳴らすカリヨン薔薇の午後

千駄木 仲 綾子

梅雨明けやすこし重たき本を買ふ

小石川 加藤 辰夫

箱庭にむかしの闇夜星まねく

向丘 丸岡 正児

岩礁に砕くる波や梅雨夕焼

小石川 中野 千鶴子